

勾当台公園再整備基本計画策定に向けた意見交換会の内容について

1. 目的 勾当台公園基本構想で想定した勾当台公園の利活用方法を踏まえ、イベント主催者や観光業界、市民団体（NPO 法人）等からの意見を聴取することにより、施設配置等を検討するうえで基本資料とするため実施したもの。
2. 意見聴取先及び内容
- ・イベント主催者（5者）：イベント等での利活用をするうえで必要な設備や備えについて
 - ・観光業界関係者（4者）：魅力的な公園を生み出すためのブランディングについて
 - ・まちづくり関係者（7者）：都市デザインの観点から、公園の役割（公園デザイン）、公園の歴史（地歴）や文化の保存と継承、エリアマネジメントによる公園での官民連携について
3. 実施日 ①令和4年7月26日：イベント主催者（3者） ②令和4年7月26日：まちづくり関係者（6者） ③令和4年7月27日：観光業界関係者（2者） ④令和4年7月29日：観光業界関係者（2者）
⑤令和4年9月26日：イベント主催者（1者） ⑥令和4年9月27日：イベント主催者（1者） ⑦令和4年9月30日：まちづくり関係者（1者）

分野	意見内容					
【イベント関係者】	イベント等での利活用 <ul style="list-style-type: none"> ● 県民会館の代替として市民広場ステージや野外音楽堂をプロのコンサート等で使用したい ● 市民広場ステージ後方の樹木が見苦しい ● 野外音楽堂を見栄え良く改修して欲しい ● 10t車搬入可能な舗装構成として欲しい ● いこいの広場はフラットに整備して欲しい(特に危険な下段の噴水2箇所を撤去)、滝の前は景観的にも良い ● 地下鉄の換気塔とエレベーターの出入口が、来場者の動線を妨げている ● 入場制限が容易な備えがあると良い(コロナ対策) ● 有料区画を分けられる設えにして欲しい(いこいの広場上段部は区画分けし易い) ● 備品を仙台市で確保し貸出しから設置までして欲しい ● アークード内にあるような七夕飾りの支柱アンカーを、公園内にも整備すれば回遊性生まれ、魅力が向上する ● 芝生広場はイベント時に養生が必要となり利用しにくい、野外音楽堂周辺に芝生を整備すれば観客が演奏を座って観ることができて良いと思う ● 新庁舎北側にバスを停車させ、観光客を南下させるようなことができれば新たな回遊動線が生まれる ● 新庁舎南側を開放的にして、バスの停留所として利用できれば新たな回遊動線が生まれる 	必要な設備や備え <ul style="list-style-type: none"> ● 昇降可能なルーフトラス(舞台屋根システム)の設置 ● 市民ステージに屋根が欲しい、元鍛冶町公園のような屋根が良い ● 県民会館の代替地としての使用も想定した設備の整備(音響や照明用のパトン、エアコンルーム等) ● 野外音楽堂ステージの面積拡充 ● テントブースに電気が供給できる分電盤の設置 ● 機材などを設置できないエリアを明示して欲しい ● トイレの数が不足している、綺麗なトイレを増設して欲しい ● 現在の電源では不足している、電源の数や容量を増やしてほしい ● 通常時は地面に格納されていて、イベント時に使用できるようなフットライトや、テント設置用のアンカーがあれば良い ● ステージにバックヤードは必要。広さや高さを柔軟に変更できる仕様にして欲しい、高さをもう少し高くして欲しい ● いこいの広場の売店を改修し、魅力的な飲食店の導入 ● いこいの広場の上段部をイベント、下段部をいこいの場として利用してはどうか ● カフェ等憩える施設が必要、公園内に荷物を預けられる施設があると良い ● ステージが地下鉄排気塔側にもあると良い(音の重複に配慮し北側向きに) 	魅力的な公園を生み出すためのブランディング <ul style="list-style-type: none"> ● 古岡広場は設えを変えて活かせれば良い。歴史に特化した広場としてアピール、椅子などを置いて憩い休憩できるような場所に 	公園の役割(公園デザイン) <ul style="list-style-type: none"> ● 野外音楽堂の向きは南向きが良い、今の位置だと滝の音と演奏音が重複し聴こえないことがある ● 市民広場のステージは東西向きに配置した方が良い(騒音問題等を考慮) ● 市民広場はステージを無くしてフリースペースとした方が良い(多様な利用を想定) ● 歴史の広場は周囲から見通しが確保できるよう、開放的に整備が必要 ● 古岡広場を撤去し広場化して欲しい ● 入れる芝生エリアがあると良い ● 3つの広場をつなぐペDESTリアンデッキや歩道橋を設置 ● 交差点周辺は人が溜まるため広く面積を確保して欲しい ● 野外音楽堂周辺の水捌けが非常に悪いので、排水施設の整備が必要。夜間暗くて危険なので照明施設も必要 ● いこいの広場は回遊できるようにして欲しい(ベンチを増設し、くつろげる空間づくり) 	公園の歴史(地歴)や文化の保存と継承 <ul style="list-style-type: none"> ● ヒマラヤシーダーは無秩序に植栽されているイメージ、更新や間引きが必要。公園内に見通しも良くなる ● ヒマラヤシーダーを残すのであれば、説明板や際立たせる演出があると良い 	エリアマネジメントによる公園での官民連携 <ul style="list-style-type: none"> ● 管理運営は民間事業者任せ、柔軟な制度を構築させる(PFI方式を積極的に活用) ● 市民広場のステージと野外音楽堂を有料とする運営の目標像を設定してから手法を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ● 市役所に隣接しているため、来訪者が安心して利用できる公的なイベントが合う。 ● 国際色豊かな物産展などを開催し、インバウンドを発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地下鉄の出入口、エレベーターとエスカレーター等がわかるサインが無い ● 椅子を貸し出して、好きな場所でくつろいでもらう仕掛け ● カフェ等憩える施設が必要 ● 公園内に荷物を預けられる施設があると良い・イベント時と災害時に利用可能な電源設備・トイレ・水道施設を整備 ● 全ての施設をマップに落とし込んで、QRコードなどを活用し、公園の全体像がわかるコンテンツを設置 ● Wi-Fi を公園内に整備し、観光客が正しい情報をすぐ得られるように ● 外国人向けのマップも必要、災害時用に英語表記のサインを設置し観光客が安心して訪れることができるように ● トイレを美しく、誰にでも使いやすい仕様に整備するべき(災害時使用可能なトイレや、男女区別のないトイレの整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 周りが自然に囲われている、といった特徴づけをアピールすれば、ブランディングの可能性は有る ● 野外音楽堂をブランディングするのであれば、「日本一の野外音楽堂」といえるような設えにするくらいのインパクトが必要 ● エリアブランディングの手法として、東京都内ではエリア全体をフィールドと見立て、エリア内をゾーニングして、その中で「公園」といった位置付けでイベントをするケースもある ● 公園だけの集客は難しいので、エリアで呼び込む方が人は集まる ● 勾当台公園は、エリアの拠点としてどんな立ち位置かを明確に設定するべき ● 基本構想からは、どんな人を呼びたいのかターゲットが見えないので、少しでもターゲットを絞って考えた方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 杜の都らしく、木製のベンチを設置するべき ● いこいの広場上段部から公園内が見渡せるよう、円形広場のベンチの向を逆に設置 ● いこいの広場に休める場所が少ない、誰もが使いたいと思う「憩い」のコンテンツを導入 ● 全体的に死角が多い、見通しが確保されれば訪れる人も増える ● ナイトイベント開催など、ライトデザイナーと一緒に明かりの使い方を検討。照明は観光面においても重要 ● 公園内を回遊することで、楽しみながら学べる公園に ● 市民の憩いに特化した公園に(市民が楽しめない公園では、市外から人は来ない) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 勾当台公園の良さを、仙台市民がわかるような設えを ● 定禅寺跡や、今も残る広瀬川河岸段丘など資源の視覚化・文字化により来園者に発信すべき ● 「表小路」「北四番丁」「勾当台」「定禅寺」など周辺の地名が分かるコンテンツの設置 ● 仙台城下の屋敷林の樹木(柿や栗など実のなる樹木)、屋久根などの樹種を公園内に植栽し再現 ● 勾当台公園周辺は、仙台の歴史が詰まった場所。伝える工夫を検討してほしい ● 古岡広場は、藩政時代の仙台の街並みがよく分かる ● 階段の一部を木製にして定禅寺の名残を再現、三越前のヒマラヤシーダーは、過去のクランク解消工事の頃から唯一変わらず残っている保存すべき樹木 	<ul style="list-style-type: none"> ● 受益者負担(公園利用者がお金を支払う)を念頭に、飲食サービス等の導入を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ● 今以上の賑わいを求めるなら、市民広場だけでは受け入れ不可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広場の使用料を曜日別に変える ● 東北6県をPRするような施設が公園内であれば良い ● 公園内の好きな場所でくつろげるよう、椅子の貸出しやパークファンチャーなどを導入 ● 勾当台公園は普段市民が使い、市民が作っていく場所。イベントスペースでは無い ● 誰もが使いたいと思う「憩い」のコンテンツを取り入れないと人は憩えない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最初にターゲットをしっかりと決めてから、ブランディングを検討 ● 勾当台公園のポジションを明確にするべき(市内の公園として・エリアとして) ● 勾当台公園再整備事業は青葉通の広場化と組んで考えるべき ● 観光客も注目し経済効果が出るような目標の設定 ● 公園内のエリアの枠組みを取り払い、『一つの公園』としてブランディングを考えるべき ● 公園に行きたくなる場所が公園内にあると良い ● ブランド発信拠点としての可能性は大いに感じる ● 勾当台公園のはっきりとしたイメージが浸透すれば、市民活動や経済活動についても活性化される ● 勾当台公園は、仙台駅前エリアに対する武器となる。市役所内の様々な部署を巻き込み、この再整備事業に取り組んで欲しい ● 公園を作り続ける工夫が必要、市民に公園を「自分の庭」として作りこませる仕掛けを構築。公園は普段使う市民が作っている場 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供達が植物に触れることができる空間、彫刻に触れて遊べる空間があると良い ● 定禅寺通側からの入口が必要 ● 合同庁舎側の緑道のようなエリアも公園敷地として活かすべき ● 土の空間をしっかりと確保し、土に水を返す構造を構築(地球温暖化対策) ● 都心のサードプレイスとして、緑を楽しみながらゆっくり憩える公園に、居心地のよい公園に ● 「日々進化し続ける公園」「人と人をつなげる公園」であることが大前提 ● 人が入れる芝生エリアを整備 ● 仙台市内の保存樹木で 2~300 年、仙台に根付いているような樹種に代えていくような植栽計画を ● 音楽やパークファンチャーなど工夫し、「居心地の良すぎる公園」となるよう整備して欲しい ● サードプレイスというのが、勾当台公園には違和感がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 何万年もかけて形成された河岸段丘によって形成された街である事をアピール ● 彫刻は空間造形で緻密に調整して設置したものである。彫刻を動かすことはやめて欲しい ● 河岸段丘に水を流したりするような、資源を活かした面白い仕掛けづくりを導入 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運営手法を早期に決定し、整備前に関係する団体等と話しを進める、 ● 市民広場は公園から外して「市役所の前庭」として低層部と一体的な広場とした方が良い(使い方が他のエリアと全く異なる) ● 維持管理については地域団体に任せ、維持管理費を地域に還元して活動する ● 公園利用者が 100~500 円程度の消費をするなど仕掛けを検討 ● 勾当台公園は、「運営」を売りにするべき ● 勾当台公園は管理を市で行っているからつまらない公園となっている。 ● 公園における禁止事項を無くし、もっと自由に使える公園にして欲しい ● 管理運営は民間事業者任せ、柔軟な制度を構築するべき ● 公園のイメージ作りには不可欠であり、民間活動が大切となる ● つなぎ橋も含め、民間の収入源になるような機能が必要(広告が掲出できる設備の整備など) ● 周辺エリアとの連携は必要不可欠(定禅寺通や仙台駅前)